

	〈 学校教育目標 〉 自分とふるさとに誇りをもち、 未来を生き抜く“チカラ”の育成	上関町立上関中学校 学校だより No. 8 令和7年9月1日
---	---	--------------------------------------

HPアドレス <http://www.town.kaminoseki.lg.jp/kami-juniorhighschool/index.html>



考え、話し合い、協力してつくりあげる2学期に

44日間と例年より少し長い夏休みが終わりました。夏休み前にテーマにした

「自分で考え、学び、体験をする」

が達成できたでしょうか。夏休みの取組の成果と課題を2学期に生かしてほしいと思います。

2学期には大きな行事として、9月に「小中合同大運動会」、11月に「かみのせき學苑祭」があります。今年度、上関中学校では

「生徒主体の学校づくり」

教員が前面に出るのではなく、生徒に多くのことを任せ、生徒が主役になる学校づくりに取り組んでいます。「小中合同大運動会」や「かみのせき學苑祭」は「生徒主体の学校」づくりを形にする最大の機会であると考えています。運動会では、各種目を3年生全員の生徒が担当し、小中学生に説明や練習の指示を行います。説明をしたり、指示をしたりすることは難しい面もあると思います。

ここで意識してほしいのが

考え、話し合い、協力する

ことです。

夏休みの取組も含め、これまでいろいろな場面で身に付けてきたことを発揮して、この二大行事でさらに大きく成長してほしいと思います。1、2年生は自分の役割を果たすとともに、3年生の活動を支える中で次のリーダーとしての力を蓄えていってほしいと思います。

学校評価アンケートの結果

7月に実施した学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。集計結果をお知らせします。（4：あてはまる。3：ややあてはまる。2：あまりあてはまらない。1：あてはまらない。）

質問項目	生徒	保護者	教職員	地域
自ら考え、進んで学習に取り組んでいる。	2.9	2.5	3.3	3.7
授業後の振り返りで学習を深めることができている。	3.0		3.1	
タブレット等を活用して考えをまとめたり、伝えたりすることができた。	3.1	3.2	2.8	4.0
仲間と対話しながら学習に取り組むことができた。	3.2	2.9	3.3	3.8
地域のことを学んだり、地域の人と学んだりすることは自分の成長に役に立つと感じる。	3.3	3.2	3.8	3.8
行事や日常の様々な活動に進んで取り組むことができた。	3.1	3.0	3.6	4.0
学校、地域で進んであいさつをしている。	3.4	3.4	3.3	3.8
相手の立場に立った言葉を使ったり、行動したりすることができた。	3.4	3.2	3.1	3.5
かみのせき學苑を花いっぱいにするなど奉仕活動に一生懸命に取り組んでいる。	3.2	3.2	3.8	4.0
学校や地域で運動に取り組み、体を動かす習慣が身についている。	3.2	3.2	3.3	3.8
SNSの約束(3箇条、10箇条)を意識してインターネット機器を使っている。	3.0	2.3	2.6	
自分の健康を考えた食生活をしている。	3.1	2.9	2.8	
小中合同の活動に熱心に取り組んでいる。	3.2	3.3	3.4	3.8
たよりやHP等を通して保護者や地域へ情報発信をしている。	2.9	3.6	3.6	4.0
人権教育や道徳教育について理解し、人権尊重の意識を高め、道徳性を養っている。	3.3	3.5	3.3	3.7
いじめのない学校(学級)づくりに努めている。	3.4	3.0	4.0	3.5
学校安全について理解し、安心・安全な学校(学級)づくりに努めている。	3.1	3.3	3.7	4.0

質問項目	生徒	保護者	教職員	地域
学校・家庭・地域が連携した教育活動を理解し、進んで活動に参加している。	3.2	3.0	3.8	3.7
家庭学習の内容や時間を工夫し、効率よく活用している。	3.0	3.0	2.8	

＜より良い学校にしていくなめのご意見＞

(生徒より)

・校則を守り、いじめがなく学年関係なく仲良くする。 ・元気に過ごす。 ・いじめを起こさず、平和な学校。

・このようなアンケートを増やす。

(保護者より)

・上級生にあいさつができる生徒が多く、感心しています。伝統として、代々受け継いでいってほしいと願っています。

・まわりの目を気にして消極的でしたが、自分ができることに対して積極的に活動しつつあるように思います。先生がたから声をかけていただくことで自信がついてきたんだと思います。多くのコミュニケーションをへて異論や共感を発するようになり嬉しいです。

(地域の方より)

・地域の人たちと共同して清掃活動や苗植えをすることで、地域の人たちと触れ合うことができていると思います。地域の人たちも、小・中学生との作業を楽しみにして下さっています。中学生も地域の人を知ることになっています。

(教職員より)

・よりよい地域連携や小中一貫教育になるように取り組んでいきたい。

・みんなが意見を述べて、改善を進めていけるといいと思います。

この結果から、特に2つの課題を感じています。

一つ目は、学習に対する主体性がまだまだ身に付いていないということです。「自ら考え、進んで学習に取り組む」「家庭学習の内容や時間を工夫し、効率よく活用する」の2つの項目からも読み取れます。学校として、授業でより生徒が主体的に学習に取り組む場面を増やし、それが家庭での学習に繋がるように指導していきます。

二つ目は、SNSの約束です。令和3年度に生徒の手でSNS10箇条を作成し、今年度も厚生委員会を中心にその達成に向けて取り組んでいます。この結果は意識の高さから来るものであるとおもいますが、引き続き生徒の手で意識を高めていきたいと思います。

まずは、この2点について、保護者、地域の方と一緒によい方向に改善していきたいと思います。お気づきをいただいたり、生徒のお声がけをいただければと思います。

この他にもアンケートの結果から改善が必要だと思われる点があります。この結果を生徒、教職員、保護者、地域と共有し、お互いに気づきを伝え合いながら、できるところからスピード感をもって取り組んでいきます。

通学路、住んでいる地域の安全点検

8月19日(火)に通学路を中心に自分が住んでいる地域にどのような危険が考えられるかを確認する取組を行いました。生徒だけでは見えない部分がある、地域の方と自分たちの住む地域を見つめるよい機会と考え、学校運営協議会の委員の方をはじめ地域の方にも参加していただきました。今回は、山口県教育庁学校安全・体育課の藤木さんから生活、災害、交通の3つの観点に分けて「どのような危険が考えられるか」について教えていただき、その後、実際に現地に行って、危険箇



所を目で見、写真に記録する活動を行いました。次回は10月に集まり、インターネット上の地図で危険箇所を確認することができる「デジタル安全マップ」を作成していきます。作成したものは小学生とも共有したり、地域の方にもご覧いただけるようにしたりする予定です。

